



## 子どもから学ぶ

サンホセ日本人学校 校長 半山章人

「みんなに感謝だ！」朝、ある男子児童がリサイクルで提供していただいた物品を運びながらつぶやいた言葉です。「3,000 コロンもリサイクルで集まったんだ」私は、担当からたくさんの量のリサイクル品が集まったことを聞いており、「たった3,000 コロンか」と思っていたところ、「3,000 コロンも」という子どもの声で、ちょっと恥ずかしい気持ちになりました。金額よりも、委員会活動で取り組んでいることにたくさんの人が協力してくれたことをうれしく思い、「感謝」という言葉ができたのでしょう。このお金で、お別れ会で使うピニャータ等の品物を購入させていただきました。リサイクルについてはティコの時間に現地理解において環境面から学習し、またそのお金の活用の仕方を代表委員会を中心に子どもたちで考えています。今後ともご協力よろしくお願いたします。



【職員室前にある種別の箱】

「先生、こんな方法でもできますよ。」中学部1年数学の授業のことです。方程式を利用して文章問題を解く学習の際、文章を読み、図や表に表して方程式をつくるよう指導します。その生徒は方程式を利用せずに鶴亀算で考え、とてもわかりやすく説明します。「なるほど」と他の生徒と感心します。ルールに敷かれた指導も必要ですが、子どもの豊かな発想を大切にするために、発言しやすい雰囲気づくり、そしてその声に耳を傾けるよう職員は努めています。



【友だちに自分の考えを説明】

「先生、今調べてもいいですか。」理科の授業では、子どもたちは疑問に思ったことをインターネット等を活用してすぐに調べます。先日は、他の子どもが拾ってきた石を「この石は何でできているのか、顕微鏡を使って観察してもいいですか。」子どもたちは好奇心のかたまりで「今」を大切にします。



【中学部が小学部1,2に説明】

さて、日本に比べて短い夏休みでしたが、外に出る機会の少ないコスタリカにおいて、子どもたちは元気に過ごしていたでしょうか。今年はパリオリンピック・パラリンピックの年で、人生をかけて何年も努力してきた人たち、中でも自分の思い通りの結果を残せた選手、悔し涙を流した選手等様々ですが、あの場に立つことだけでもすごいことです。子どもたちに「結果も大切ですが、それまでの過程が大切ですよ」と話しますが、つい順位などの数字、結果で判断することがあります。改めて、それまでの途中の過程に大きな価値があることを実感するとともに子どもたちの興味や関心を大切にしなければならないと感じた1学期、そして夏休みでした。2学期(88日/1年間200日)も、どうぞよろしくお願いいたします。

- 13日(火) 2学期始業式・集金日
- 19日(月) 委員会⑤ 教育相談週間
- 20～21日(火・水) トピタテ留学ジャパン留学生  
齋藤なつかさん(高校2年生)来校予定
- 23日(金) クラブ④(前期最終)
- 30日(金) 避難訓練  
中学部職業講話  
(JICA・友岡さん来校予定)



- 4日(水) お誕生日会
- 7日(土) 持久走記録会・授業参観  
宿泊学習説明会(懇談なし)
- 9日(月) 振替休業日
- 11日(水) 持久走記録会(予備日)
- 16日(月) 委員会⑥
- 17日(火) 2学期中間テスト範囲発表(中学部)
- 20日(金) クラブ(後期①)
- 24日(火) 職員研修(5時間授業) 下校バス14:00
- 27日(金) 前期活動報告会

